

【ビジターセンター イベント案内】

環境省箱根ビジターセンター 県立秦野ビジターセンター

●特別観察会「仙石原周辺の鳥の観察会」

【日時】第1回：2月27日(日) 10:00~12:00
第2回：3月6日(日) 10:00~12:00
【参加費】無料
【定員】先着20名
【集合解散】湿生花園第1駐車場内公衆トイレ付近
【申込方法】「名前、住所、電話番号、年齢、性別」を記入のうえ、電話もしくはメールにて箱根ビジターセンターまで申し込み。
電話：0460-84-9981
メール：hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

●特別展「どうなる!? 仙石原 ～仙石原湿原モニタリング10年の結果～」

【展示期間】平成23年2月18日(金)
～平成23年4月17日(日)
【内容】火入れが再開されてから10年のモニタリング調査の結果を紹介いたします。

●自然教室「森の動物たちのくらしをさぐるう！」

周辺の野山を探索しながら、森の動物たちの暮らしをさぐってみませんか?
【日時】3月26日(土) 9:30~15:30
【対象】小学生以上30名(小学生は保護者同伴) ※応募者多数の場合は抽選
【参加費】1人1,500円
【締切日】3月10日(木) 必着
【活動場所】秦野ビジターセンター周辺
【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。

●企画展「丹沢自然再生」

【展示期間】平成22年12月18日(土)
～平成23年3月31日(木)
【内容】丹沢の豊かな自然とその背景で起きている様々な問題とは?丹沢の自然再生についてご紹介します。

県立丹沢湖ビジターセンター 県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●企画展「地図よみを楽しもう！」

【展示期間】平成22年11月13日(土)
～23年3月31日(木)
【展示内容】地図に書かれた線や記号の意味は? 地図よみのための基礎知識を楽しみながら学びましょう!
※開館中はいつでもご覧になれます

●企画展「丹沢の素敵な場所、変な場所」

【展示期間】平成22年11月20日(土)
～平成23年3月31日(木)
【展示内容】丹沢には、感動をみんなに分けたくくなるような素敵な場所がたくさんあります。一方、問題をかかえて悲しくなるような場所もあります。そうした風景を写真で紹介いたします。

2017

3月号

No.85

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

プレイバック自然教室 《丹沢湖ビジターセンター》

「こんな施設があったんですね！」来館者の方によく言われる言葉です。丹沢湖ビジターセンターは、観光のメイン道路から少し外れた所にあります。そのため、観光で丹沢湖を巡っている最中に偶然センターを発見し、立ち寄り方が結構たくさんいるのです。

これではいけない!
ビジターセンターが何をしている施設なのかをもっと知ってもらわなければ!

ビジターセンターは、訪れた人に展示や解説を通じて丹沢を伝える施設ですが、その活動内容は非常に多岐にわたります。

ということで、今回は重要な活動の1つで最も目に見えやすい部分である、自然教室という活動を紹介したいと思います。

これまでに実施した自然教室のいくつかをプレイバック!という形で並べてみました。内容も対象も様々ですが、そのどれも『一緒に体験することを通じて丹沢の自然を伝える』

というねらいと、スタッフの熱〜い思いが詰まっています。(原島)



『親子のための川遊び入門』
夏本番の前に川遊びの楽しみ・危険を親子でしっかりチェックしてほしい!



『自然調査にチャレンジ!』
丹沢で行われている調査や動物達の現状について興味を持ってほしい!



『丹沢の生いたちさぐり隊』
丹沢の生いたちってどうダイナミック!その面白さを子ども達に感じて欲しい!



『山登りの基礎知識』
消防署等との協働企画。安全登山のために応急手当や地図読みを学んでほしい!



『紅葉ハイク』
こんな自然の楽しみ方はどうですか?大人のための自然観察を提案します!



『野鳥観察はじめの1歩』
丹沢にはこんな野鳥がいるんです。鳥をきっかけに丹沢の自然に目を向けてほしい!

自然公園へ出かけよう



休館日は直接お尋ねください

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakov/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovo/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3840 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~6:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日輪場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

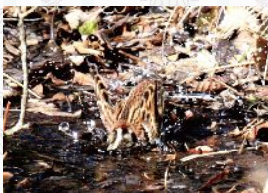
寒くないの？ 《箱根ビジターセンター》

連日の寒い中、我々は動きが鈍るというのにそんな冷え込みなどお構いなしに飛び回るのが野鳥達。中でも、極寒の風が吹く寒い中にも関わらず、平気で水浴びをする奴です。

「バシャバシャ！」と豪快に飛沫をたてて水浴びをする鳥達。池の半分は凍っているのに、なんとも気持ちよさそうに顔を水に浸けては「ブルブルブル！」と、1発で目の覚めそうな洗顔をしている・・・。我々もこんな野鳥の元気を覗きたいものです。



氷の池が水浴び場



カシラダカの洗顔

かまくら作成

とうとう、箱根にも雪が降り積もりました。2月の3連休を直撃し、道路のあちこちでは、雪に滑って路肩から動けなくなっている車が何台も・・・。この積もった雪を利用してビジターセンター前に「かまくら」を作ってみました。箱根ではちょっと珍しいかまくらに、3連休を楽しむ家族連れの方々による、記念撮影の嵐。そのうちに日中の日差しと、子供達による「かまくら登り(笑)」にて、ボロボロになっていくかまくら。夕方頃には穴ぼこだらけの欠陥住宅状態になってしまい、翌日には崩壊。たった1日だけのかまくらと終わってしまいました。(加藤和紀)



かまくら

この冬の西丹沢 《西丹沢自然教室》

登山者が一番少ない時期が冬ですが、山の上では気温がマイナス10℃以下になることもあります。雪と寒さがこの時期の特徴で、沢の水にも関心が集まり、特に凍結した滝は人気があります。

西丹沢自然教室の朝の気温の推移は、12月15日+7℃、12月18日-1℃、1月4日-3℃、1月19日-3℃、1月30日-4℃、2月9日+2℃、2月18日は+6℃でしたが、滝の凍結のピークは1月20日ごろでした。今年度の冬のはじめは雪が少なく、12月に二度の積雪がありましたが、年末には無くなりました。

正月に檜洞丸山頂で積雪が無いのは最近毎年の中で、まとまった積雪になったのは1月24日からです。檜洞丸の登山道の積雪量の推移は、12月8日12cm、1月4日1cm、1月24日10cm、2月2日5cm、2月12日40cm、2月20日には30cmとなり吹き溜まりでは100cmを越えてほしい平年と同じくらいの積雪量になりました。(倉持)



本棚の滝の水



積雪と霧水の檜洞丸山頂



のれんのような水柱

宮ヶ瀬のムササビ 《宮ヶ瀬ビジターセンター》

ムササビという動物を知っていますか？

ムササビはリスの仲間で、ネコほどの大きさがあります。そして、手(前足)から足(後足)にかけてある体の側面の皮膜を使い、木から木へグライダーのように空を飛びます。これを滑空と言います。皮膜を広げて滑空する姿はまるで座布団の様です。

宮ヶ瀬でもムササビは生息しているものの、ムササビを見かけることはほとんどありません。ですが、ムササビがいる証拠を見つけることはあります。

ムササビが食べた葉っぱや糞などです。ムササビは葉っぱを折りたたんで食べるため、左右の形が同じになります。糞は小さく5～10mmほどで丸い形をしています。

ムササビにとって、3月は出産の時期でもあります。木の穴を巣に使っているのも、もしかしたら、穴の中に赤ちゃんムササビがいるかもしれません。

林の中が見渡せるこの時期に、ムササビの落し物を探したり、木の穴を探すのも面白いでしょう。(吉田)



ムササビ



ムササビの糞



木の穴

私も花ですよ～。 《秦野ビジターセンター》

3月の丹沢は少し暖かい日もあれば一面の銀世界の日もあります。そんな中、既に咲いている花も少なくありません。その色形は様々です。

緑の葉の下に緑色の小さな花をつけるオニシバリ。下からのぞき込むか、「ちょっと失礼！」と葉をめくると花の姿が見えてきます。

葉もない枝に僅かに色を添え、ユニークな形をしているのはツノハシバミの雌花。赤いイソギンチャクに見えるのは雌しべの先端部分で、寒さから守るための芽鱗に包まれています。雄花は？というと、小さな花が多数集まって長さ約10cmもの花序をなしており、よく見ないと花だとは理解できないかもしれません。

目につきやすい暗紅色の棒をたくさんつけているのは、フサザクラの花。作りは？というと、長さ約7mmの暗紅色の物は雄しべの蕊です。その付け根をのぞくと淡緑色の雌しべが見えます。

他にもまだまだ隠れ上手や面白い形の花がたくさんあります。ぜひ探してみてください、見過ごしてしまいそうな花たちを！(柳川)



オニシバリの花



ツノハシバミ雌花



ツノハシバミ雄花



フサザクラの花